

平成17年度病害虫発生予報第8号(11月予報)

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

マンゴーキジラミ

Microceropsylla nigra (Crawford, 1919)



成虫



被害葉



幼虫

生態と被害

成虫は黒色で体長0.7～1.0mm、セミに似る。幼虫は黄緑色、扁平で逆三角形の体型をしている。成・幼虫とも主に新葉の葉裏に寄生し、葉脈や葉柄部から吸汁する。加害が激しい場合には葉を黄化・落葉させる。また、幼虫の排泄物（甘露）はすす病を誘発する。本種は1986年に本島北部で初めて確認された。現在では奄美や小笠原でもマンゴーの害虫として確認されている。

予報の見方

発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。

「発生の程度」は平年との比較を示しています。そのため毎年その月で高い数値が続いた場合にはその月の「発生の程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にして下さい。

平成17年10月28日

沖縄県病害虫防除所